

関西同窓会総会（@大阪）に出席！ 9月1日

関東同窓会会長 上原昇（65期）

昨年に引き続き今年も関西同窓会総会に関東同窓会を代表して参加した。開催日時は9月1日（土）10時半から、会場は昨年と同じ新大阪駅東口を出てすぐの大阪コロナホテルである。

第28回を数える同総会には32名の同窓生（48期から83期）と来賓6名、計38名が参集した。関東に比べて規模小さいが、顔なじみの皆さんが和気藹々、家族的な雰囲気の中での総会と懇親会となった。

総会のあとは講演会が行われた。講師は、田辺三菱製薬（株）相談役（元社長）の土屋裕弘（みちひろ）さん（71歳、松本深志高校OB、京大（薬・博士）修了）で、「医薬品産業の現状と将来～自由闊達な企業風土で夢のある新薬の創製を～」という演題で話を聞いた。土屋さんは京大時代、寮で関西同窓会会長の竹内俊隆さん（68期）と一緒にいたという縁でお呼びしたとのこと。同郷の誼もあり、本音でのお話を聞くことが出来た。

懇親会では母校の廣田昌彦学校長、同窓会の金子元昭理事長（68期）のあいさつがあり、筆者も関東同窓会を代表してスピーチをさせてもらった。全員が登壇して近況報告するのも関西ならではの光景であった。（18年9月2日記）

【写真1: 関西同窓会総会での集合写真、前列右から3人目が筆者】



【写真2:講演する田辺三菱製薬(株)相談役の土屋裕弘さん】



【写真3:懇親会でスピーチする筆者】



写真の撮影・提供は関西同窓会文化委員会委員長の武舎一夫さん(73期)